

令和3年6月10日

長崎リハビリテーション学院
学院長 鳥山 雅之 殿

学校関係者評価委員会
委員長 美野田 哲夫

令和3年度第1回学校関係者評価委員会報告について

令和2年度自己評価に対する学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科長 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科副科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (元同窓会会長 愛野記念病院 事務長代理)、副委員長
- ⑤ 橋口研一 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 祝 利久 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 美野田哲夫 (元長崎県教育庁 県立学校校長)、委員長

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和3年 5月28日 (会場 長崎リハビリテーション学院)

3 学校関係者委員会報告

別紙1、2 のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標1. について

国家試験合格率は前年度より向上しており評価したい。引き続き、FD委員会を中心とした教員の教授力向上のための取組を行い合格率の維持・向上に努めてほしい。理学療法学科と作業療法学科は新教育課程が2020年度入学者より適用されており、キャリア教育が明確に位置づけられたということであるが、学生自身が振り返り・修正をしながらより良いものに近づくよう導くことが大切である。

2 重点目標2. について

少子化のなか、さらにはコロナ禍で学生募集には苦慮されていると思うが、様々なメディアを活用して学院の良さをPRしてほしい。コロナ禍で思うようにいかない場合もあると思うが意欲をもち続け継続してほしい。

就職率100%は素晴らしいことである。社会貢献活動を通して、人間性・協調性・会話力を育み、相手の気持ちを理解し寄り添える職業人として活躍を期待したい。また医療施設以外の老人保健施設等への就職に結びつくような内容を教育に盛り込んでほしい。

3 重点目標3. について

スマホによる健康管理チェックは重要な感染症対策であり、現場での実習にも十分生かされるので徹底した取組をしてほしい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

理学療法学科と作業療法学科は新教育課程が2020年度入学者より適用され、ややタイトな時間割となっているが、一方、キャリア教育や健康増進論など社会的に求められる科目が明確に位置づけられたということで、成果がでるよう取り組んでほしい。

2 学校運営

「スクールギア」「スマコク・エデン」「さくら連絡網」など、情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている。また「マイクロソフト・チームズ」の活用により感染対策、大雨等の交通障害の際に遠隔授業が実施されている。

3 教育活動

キャリア教育の「未来ノート」は学生自身が振り返る機会を作ることができ、良いツールだと感じる。講義評価では自己評価として活用しその後の授業改善に役立てている。さらに学生の再試者数の減少につなげてほしい。

4 学修成果

学生の社会性の低さが目立ってきているということであるが、学院全体の認識として同じベクトルで同じ方向に向かって指導してほしい。将来、子ども、障害のある方、高齢者と接する職業人となる学生として非常に重要なことである。まずは挨拶からである。

5 学生支援

学生の経済的側面への支援は、国の高等教育支援制度など学院として様々な制度を導入している。全国的にも中途退学などが多くなっている中での学院の取組は良いと思う。保護者との連携のための保護者面談や「保護者便り」は良い取組と思う。有効に活用してほしい。

6 教育環境

理学療法学科と作業療法学科において指定規則改正に伴う整備は完了している。防災関係において総合防災マニュアルが検討・作成中であり、今後完成に向け取り組んでほしい。

7 学生の募集と受入れ

入学者は定員を満たしていない学科があったということであるが、適宜情報ツールを活用し学院のPRに努めてほしい。ケーブルテレビは地域の視聴者が多く地域への発信として有効であると思う。

8 財務

国の「高等教育支援制度」等を受ける必要から、財務を情報公開している。

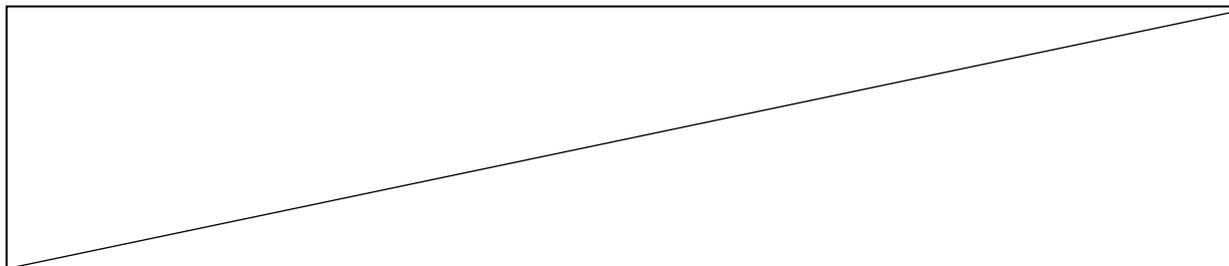
9 法令等の遵守

いろいろな規則をふまえながら適切に対応されている。

10 社会貢献・地域貢献

コロナ禍でボランティア活動が制限される中、感染者や医療従事者の偏見をなくすためのシトラスリボン活動を実施している。授業やボランティア活動の中で、学生がノーマライゼーションやバリアフリーを学ぶ機会を設けている。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



学校関係者評価

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	学校関係者評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目2：学校運営

	項目	自己評価	学校関係者評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	3
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	4
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	4

3) 項目3：教育活動

	項目	自己評価	学校関係者評価
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	4

3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
3-10-2	各種科目試験は適切に行えているか	4	4
3-10-3	講義や実習の運営は適切に行えているか	4	4
3-10-4	学籍管理は適切に行えているか	4	4
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-12-2	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目 4 : 学修成果

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	4
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	4

5) 項目 5 : 学生支援

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4	4
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
5-19-3	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	3	3
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目 6 : 教育環境

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4

6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	3
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3	3
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4	4

8) 項目8：財務

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	3
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

9) 項目9：法令等の遵守

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	4
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	4